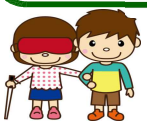
はばたけ

名護幼稚園
名護小学校　便り20号
令和5年　10月5日
発行者　仲宗根 勝也



広げよう福祉の心

名護小学校ホームページにカラー版を掲載しています。

9月27日～29日、4年生の総合的な学習（サンサンタイム）で福祉体験学習を行いました。名護市福祉協議会と北部自立生活センターキララ（希輝々）の皆様を講師に迎え、アイマスク体験と車いす体験を行いました。両体験とも、障害のある側と介助する側の双方の立場に立った体験を行いました。普段は、何とも感じない段差やスロープが予想以上に厳しく、不安になることが多かったようで、この体験を通して、障害がある人への声かけが大切だということを学んだようでした。子どもたちにとって貴重な学習となりました。ご協力くださった名護市福祉協議会と北部自立生活センターキララの皆様、3日間本当にありがとうございました。

よしっ 本物見に行こう！ オリオンビール工場見学

10月2日、3年生が社会科の授業のしめくくりにオリオンビール工場見学へ行きました。
例年は、始めに工場見学をして、その後、座学を進めていきましたが、今年度は、座学を先に行い、「よし、本物を見に行こう!」という具合に工場見学を後に行いました。子どもたちは、教室の中で学習したことと実際に見たものとが結びついたことと、本物のスケールの大きさやにおいなども実感できたことなど、様々な驚きや発見があり、とても有意義な工場見学となりました。ICT機器の発展で間接体験や疑似体験の機会は、圧倒的に多くなりましたが、本物に触れ、関わり合う直接体験の重要さを再認識した取組となりました。

楽しかった 保・幼・こ交流会

9月28日に4年ぶりの開催となる、保・幼・こ交流会を行いました。今回は、あい中央保育園、あい保育園、海星こども園の5歳児のみなさんが参加してくれました。子どもたちは、それぞれに好きな場所で好きな遊びをして楽しんでいました。久しぶりに再会した友達や初めて知り合った子とも楽しそうに交流していました。交流後の感想はたくさんの子どもたちが発表してくれました。コロナ禍で中止になっていた取組がどんどん復活し、子どもたちの笑顔がたくさん見られるようになり、嬉しい限りです。

読みきかせサークル「ちゅらちゅら」本格活動へ

9月29日、2学期初めての読みきかせサークル「ちゅらちゅら」の活動が始まりました。コロナ禍で対面式の読みきかせができなかった時期もありましたが、これからは、以前のような活動を再開していくようです。子どもたちも久しぶりの読みきかせに大満足の様子でした。朝の読みきかせのおかげて落ち着いた一日のスタートとなりました。

標語で優秀賞

9月27日に行われた、男女共同参画推進月間標語コンクールにおいて、5年生の**比嘉皇介**さんが受賞の喜びを報告に来てくれました。皇介さんの作品は、現代社会にマッチした素晴らしい標語だと思います。

受賞おめでとうございました。

みんなちがって、みんないい
個性をだいじに、
多様性の社会を。

おめでとう！最優秀賞

8月26日に行われた、第38回北部地区ソロ・デュエットコンテストにおいて、アルトホルンの部で**山本万展雄**さん、マリンバの部で**東江莉月音**さんが最優秀賞を受賞しました。これまで、練習を頑張ってきた2人なので喜びもひとしおでした。

金管バンド部からは、その他にも**島袋真里亜**さんが金賞、**山本琥児雄**さん**比嘉苺瑚**さん、**玉城千裕**さん、**平良向日葵**さん**田場木乃実**さんが新人賞を獲得しました。

受賞した皆さん、おめでとうございました。